

南丹市市民参加と協働の実施計画 令和5年度計画・実績

(令和5年12月末現在)

変更部分を赤字にしております。
評価・コメントの項目を追加しております。

目次

| ページ番号 | タイトル |
|-------|--|
| 1 | 第1章 この実施計画の位置付け 1. 実施計画作成の目的 2. 作成の方法 3. 計画の見直し |
| 2 | 第2章 市民参加 |
| 3 | (1) パブリックコメント |
| 4 | (2) 市民ワークショップ |
| 5 | (3) 審議会、委員会等による調査及び審議 |
| 13 | (4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座 |
| 16 | (5) アンケート |
| 17 | (6) 共同研究 |
| 18 | (7) 市民との協定 |
| 19 | (8) その他の市民参加手続きの実施 |
| 20 | 第3章 協働 |
| 21 | (1) 事業の委託 |
| 23 | (2) 協働（共催） |
| 24 | (3) 協働（事業協力） |
| 25 | (4) 協働（支援・補助） |
| 29 | 第4章 仕組み |
| 30 | (1) 情報の積極的な発信 |
| 31 | (2) 意見交換の場や交流の仕組み |
| 32 | (3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み |

第 1 章 この実施計画の位置付け

1. 実施計画作成の目的

本計画は「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」第 11 条の規定に基づき、市民が主体の魅力あるまちづくりを実現するため、まちづくりについて市民と行政と一緒に考え話し合う機会づくりや、市民がまちづくりに参画するための情報提供をまとめ公表するものです。

2. 作成の方法

本実施計画は、令和 5 年度から 7 年度の 3 年間を計画期間とし、「市民参加」と「協働」そしてそれらを推進するための「仕組み」の 3 つの構成により作成することとし、現在、市役所の各所属で実施されている又は今後実施が予定されている施策や事業についての現状と今後の計画等を調査し、それらを取りまとめ作成します。

3. 計画の見直し

本計画の実施状況は、南丹市市民参加と協働の推進に関する条例第 12 条に定める第三者委員会に報告を行うこととし、市民ニーズや市民参画と協働の推進状況において大きな変化があれば、必要に応じて見直しを行うこととします。

なお、各所属で実施予定の施策や事業については毎年調査を行い更新します。

※本計画は、令和 5 年度の計画・実績のみ掲載したものです。

第2章 市民参加

行政の施策等において、その企画立案から決定に至るまでの過程で市民が主体的にさまざまな意見を述べ、提案することで、市政に対して積極的・自主的に参加し、それらを反映させる仕組みをいいます。

Citizen participation

市の制度や計画のほとんどは行政が主体的にその制定や樹立を行っていますが、市民のみなさんが主体の魅力あるまちを実現するためには、市民のみなさんの意見が市政に反映できる仕組みづくりが必要です。その仕組みである市民参加の実現は、現代社会の多様なニーズに対応し、それぞれが満足感の高い豊かなまちづくりにも繋がります。まずは、市民と行政がそれぞれに力を入れすぎず、構えず、気軽な相談や意見交換ができる環境づくりが必要です。

1. 市民参加の手続

南丹市市民参加と協働の推進に関する条例により市民参加の手続を次に掲げるとおりとし、積極的に推進します。

- (1) パブリックコメント制度の活用を積極的に進めます。
- (2) ワークショップ委員を公募し、計画策定への参画を積極的に進めます。
- (3) 審議会等への市民公募委員の参画を積極的に推進します。
- (4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座を開催します。
- (5) ニーズ把握のためのアンケートを実施します。
- (6) 共同研究を積極的に進めます。
- (7) 市民との協定による新たなまちづくり施策等の実施を積極的に進めます。
- (8) その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。

(1) パブリックコメント

施策等の企画立案に当たり、趣旨や目的などを公表し、計画を作成している最中に市民の意見を聞き、計画自体に反映させる手続きです。投稿用紙を市役所（本庁および各支所）窓口を設置するとともに、南丹市のホームページなど様々な広報媒体を活用し意見を求めます。

| 計画 | | | | | | 実績 | | | 担当課 | 評価・コメント |
|-------------------------------------|--|------------|--------|--|----------------------------|--------------------------|------------|----|-------|---|
| 名称 | 概要 | 前計画期間の実施時期 | 実施予定時期 | 意見を提出できる方 | ご意見の提出方法 | 実施時期 | 実績 | 備考 | | |
| 南丹市障害者計画 第7期障害福祉計画 第3期障害児福祉計画 | 障がいのある人もない人も、ともに安心して暮らせるようにするため、障がい者施策の実現に向けた具体策を定めます。 | R3.1~2 | R6.1頃 | 市内に住所を有する方、市内に事務所、事業所を有する個人及び法人その他団体、事務所、事業所に勤務する、学校に在学する、市税の納税義務を有する方 | 郵便 FAX 電子メール 直接持参 | R6年1月12日 ~ R6年2月5日 | 12月末時点で未実施 | | 社会福祉課 | <p style="color: red;">期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点 等)</p> <p style="color: red;">※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p>広報手段として、ホームページ・お知らせなたん・なたんテレビ文字放送・SNS掲載を活用することで適切な周知を行う。</p> |

(2) 市民ワークショップ（計画）

行政がさまざまな計画を立案する際に市民のみなさんと一緒に検討するための「ワークショップ」を開催しています。その際、ワークショップ委員を公募し、意見を求めます。

| 計画 | | | | | | 実績 | | | 担当課 |
|------|----|----------------|--------|--------|------|------|---------------|----|-----|
| 名称 | 概要 | 前計画期間の 実地時期 | 実施予定時期 | 応募できる方 | 応募方法 | 実施時期 | 実績 (参加者数等) | 備考 | |
| 計画なし | | | | | | | | | |

(3) 審議会、委員会等による調査及び審議（計画）

まちをよくするために行政が樹立するさまざまな計画などに市民のみなさんの意見が直接反映できるよう、事業の内容に応じて審議会などの付属機関を設置し、特に専門性を必要とする場合や個人情報を含む場合を除いて、その審議会や委員会を構成する委員の一般公募を推進しています。一般公募している事業等は次のとおりです。

※審議会委員などへの参画を希望される方は、南丹市ホームページ審議会・委員会のページもしくはお知らせ版による募集の告知をご覧ください。直接担当課にお問い合わせください。

※特に資格や経験などの専門性を有する審議会や委員会については、一般的な公募を行うことなく条例や要綱の定めにより、関連する団体を通して委員を推薦いただき直接的に就任をお願いする場合があります。

（市民公募を行っている審議会等）

| 計画 | | | | | | | 実績 | | | 担当課 | 評価・コメント |
|-----------------|--|-----------------------|----------------|-----------------------|---|--|---------------------------|----------------|--|--------|---|
| 名称 | 概要 | 委員数 公募：条例 全体：条例 | 公募目標 (前期実績) | 任期 公募時期 | 応募資格 | 公募以外の委員 | 公募期間 | 公募結果 | 備考 | | |
| 南丹市子ども・子育て会議 | 南丹市子ども・子育て支援事業計画の進行管理などを行います。 | 5人 〔20人〕 | 5人（5人） | 任期2年 R5 | 1.南丹市内に住所を有する方 2.小学生以下の子どもの保護者又は子育て経験のある方 3.開催される会議に出席できる方 4.本市議会議員及び本市職員でない方 | 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者、学識経験者等 | 応募期限 R5年3月10日 | 募集：5名 採用：5名 | 南丹市ホームページ掲載：令和5年2月10日～3月10日 お知らせなんたん掲載：令和5年2月第4金曜日発行（2月24日発行） | 子育て支援課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 （例：広報の方法が適切であったか、何を目的とする審議会なのかをきちんと広報できていたか、良かった点、上手くいった点、課題点） ※委員会での審議でのみ使います。 市民に対しての公表は行いません。 |
| 南丹市地域公共交通会議 | 地域の実情に応じた輸送サービスの実現に必要な事項の協議を行います。 | 定めていない 〔25人以内〕 | 若干名（0人） | 任期：2年 公募次期：令和5年7月 | 市内に住所を有する方又は市内に勤務する令和5年9月1日時点で満18歳以上の方で、市内の公共交通に関心を持ち、会議において積極的に意見を述べたいだけの方。 ※高校生、南丹市議会議員、南丹市職員を除く | 一般旅客自動車運送事業者、近畿運輸局京都運輸支局長、近畿運輸局京都運輸支局長、京都府南丹警察署等 | R5年7月18日 ～ R5年8月18日 | 募集：1名 採用：1名 | | 地域振興課 | 公募委員に就任いただいた委員は、市内で「市営バスに乗ろう会」という利用促進のイベントを主催されている団体の方であり、地域公共交通会議においても取組の内容等を発信いただけており、市内の公共交通に関心を持ち、会議で積極的に意見を述べたいだけの方に就任いただいたことで、より建設的な意見交換ができる場となったと考える。 委員の応募数が1名であったことから、今後はより興味を持ってもらえるような広報の仕方が必要と考える。 |
| 南丹市環境パートナーシップ会議 | 第2次南丹市環境基本計画の具体的な取り組みについて、企画、実施、推進を図ります。 | 若干名 〔15人以内〕 | 10人（2人） | 任期：2年 公募時期：令和5年7月頃 | 1.市内に住所を有する18歳以上の方 2.環境の維持、保全、向上に熱意のある方 3.第2次南丹市環境基本計画の推進に積極的に協力いただける方 | 識見を有する方 | R5年8月14日 ～ R5年8月31日 | 募集：2名 採用：2名 | | 環境課 | 公募目標に対し、2名の募集にとどまった。 広報の方法や期間等、今後の方法については、現在、パートナーシップ会議で検討している。 |

(現在公募を行っていないが、公募の導入を検討している審議会等)

| 名称 | 概要 | 全体委員数 〔条例〕 | 公募委員数の 目標 | 選任方法 | 検討状況 | 担当課 | <p style="text-align: center;">評価・コメント</p> <p>公募の導入を検討中もしくは、導入しないと判断された場合のみ記入ください。 (例：導入できない課題点は何か)</p> <p>※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> |
|----------------|--|----------------|--------------|--------------------------------------|------|-------|---|
| 南丹市文化センター運営審議会 | 南丹市内に設置した文化センター及び児童館の運営について調査、審議し運営の推進を図ります。 | 17人 〔20人以内〕 | 1人 | 自治会等地域住民団体の代表者、教育関係者、社会福祉関係者、学識経験者 等 | 検討中 | 人権政策課 | 本審議会の性質上、具体的な地域名を出して審議する場面もあることから、公募については慎重に検討する必要がある。 |
| 南丹市行政評価推進委員会 | 市の実施する行政評価について、第三者の視点から調査、審議し、市長に改善案等を助言します。 | 一人 〔5人以内〕 | 一人 | 経営及び行政評価について、優れた見識を有する者 | 検討中 | 人事課 | 議会や監査にて、審議、評価を頂いていることも踏まえ、更なる評価手法・必要性の有無を含め検討中。(継続して検討) |

(専門性を有するなどの理由で公募を行っていない審議会等)

| 名称 | 概要 | 全体委員数 〔条例〕 | 公募を導入して いない理由 | 受益者等当事者 を公募すること の是非 | 選任方法 | 担当課 |
|---------------------------|---|----------------|--|---|---|--------|
| 南丹市野生鳥獣対策 運営協議会 | 南丹市における有害鳥獣の捕獲体制 を確立し、円滑かつ適正な有害鳥獣 捕獲活動を推進していきます。 | 20人 〔20人以内〕 | 委員を選任する際に専門 知識を有する団体・個人 を人選しているため | 専門知識を有する団 体・個人を専任して おり、公募は考えて いない。 | 南丹市猟友会、京都府南 丹広域振興局農林商工部 等行政職員、管内に所在 の森林組合、農業団体、 市議会議員、京都府緑の 指導員、農業委員会委 員、管内に所在の漁業協 同組合 | 農山村振興課 |
| 南丹市の森林を考える会 | 市民共有の環境財産である森林を適 切に管理し、住民が参画することで 幅広い意見を反映させた森林づくり を目指していきます。 | 17人 〔20人以内〕 | 委員を選任する際に専門 知識を有する団体・個人 を人選しているため | 専門知識を有する団 体・個人を専任して おり、公募は考えて いない。 | 森林組合の役職員及び林 業関係団体の代表者、林 業従事者及び山林所有 者、京都府関係機関等 の行政職員 | 農山村振興課 |
| 南丹市農業振興推進協議会 | 農業の振興及び条件整備を図るた め、農業政策に関し必要な施策につ いて審議します。 | 13人 〔30人以内〕 | 農業施策に関する専門的 な内容での協議を要す るため、条例に掲げた組織 等からの推薦者や、農業 指導士等から選任し構成 する。 | 個人情報扱う調査 審議を行うため、公 募は行わない。 | 市農業委員会委員、農業 団体役職員、土地改良区 役職員、京都府関係機 関、農業者、集落組織代 表者、学識経験者等 | 農業推進課 |
| 南丹市民生委員推薦会 | 民生委員法施行令第7条の規定に基 づき、民生委員推薦会規則を定め推 薦会を実施します。民生委員の確保 のため必要です。 | 14人 〔14人〕 | 審議内容が個人情報であ り、有資格者等専門的な 委員での審議をしている ため。 | 個人情報扱う調査 審議を行うため、公 募は行わない。 | 市議会議員、民生委員、 社会福祉事業実施者、社 会福祉関係団体代表者、 教育関係者、行政職員、 学識経験者 | 福祉相談課 |
| 南丹市地域福祉計画 推進委員会 | 南丹市地域福祉計画の推進を図るた め、進捗状況の把握に関すること、 方策の検討、見直しに関することを 協議し地域福祉を推進します。 | 20人 〔30人以内〕 | 専門的な方、地域福祉活 動団体代表者等、参加い ただきたい関係機関に推 薦依頼し、選出いただ いているため。 | 個人情報扱う調査 審議を行うため、公 募は行わない。 | 学識経験者、市民組織代 表者、社会福祉関係者、 警察消防関係者、行政関 係者等 | 福祉相談課 |
| 南丹市権利擁護・成年後見 センター運営委員会 | 南丹市の成年後見制度の利用促進及 び適切な事業運営を確保するため、 センター運営に関すること及び市の 成年後見制度の利用促進に関するこ とを協議し助言を行います。 | 6人 〔10人以内〕 | 専門性を有する協議であ り公募は行わない | 専門職団体及び専門 知識を有する団体か ら選出いただいでお り、公募は考えてい ない。 | 弁護士、司法書士、社会 福祉士、学識経験者 | 福祉相談課 |

| 名称 | 概要 | 全体委員数 〔条例〕 | 公募を導入して いない理由 | 受益者等当事者 を公募すること の是非 | 選任方法 | 担当課 |
|--------------------|--|---------------|--|--|---|-------|
| 南丹市国民健康保険 運営協議会 | 市長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議します。 1.一部負担金の負担割合に関する こと。 2.保険税に関すること。 3.保険給付の種類及び内容の変更に 関すること。 4.保健事業の実施大綱の策定に関す ること。 5.前各号に定めるもののほか、市長 が国民健康保険の運営に関し重要と 認める事項 | 13人 〔13人〕 | 専門的な協議会のため、 国民健康保険被保険者代 表等、参加いただきたい 関係機関に推薦依頼し、 選出いただいているた め。 | 専門知識を有する団 体から選出いただい ており、公募は考え ていない。 | 被保険者を代表する委 員、保険医又は保険薬剤 師を代表する委員、公益 を代表する委員、被用者 保険等被保険者を代表する 委員 | 市民課 |
| 南丹市いじめ防止等 対策委員会 | いじめの防止等のための対策につ いて調査審議し、及び教育委員会の諮 問に応じ意見を答申、法第28条第1 項の規定による調査を行います。 | 5人 (10人以内) | 専門性が必要なため。 | 個人情報扱う調査 審議を行うため、公 募は行わない。 | 法律、教育、心理等必要 な専門知識を有する者、 その他教育委員会が必要 と認める者 | 学校教育課 |
| 南丹市情報公開審査会 | 情報公開決定等に係る審査請求が あったときの市長等からの諮問に応 じて調査審議し、答申を行います。 | 4人 〔5人以内〕 | 会議の内容が情報公開決 定等に係る審査請求に関 する調査、審議であり、 専門的な知識経験を有す る方に依頼をしているた め。 | 機密や守秘義務に関 する案件を扱う審査 会のため、受益者等 を公募する選定方法 は、馴染まない。 | 知識経験を有する者 | 総務課 |
| 南丹市個人情報保護審議会 | 個人情報開示決定等に係る審査請求 があったときの市長等からの諮問に 応じて調査審議し、答申を行う等、 南丹市個人情報保護審議会条例の規 定により審議会が所管することとさ れた事務を行います。 | 4人 〔7人以内〕 | 会議の内容が個人情報開 示決定等に係る審査請求 に関する調査、審議等 であり、専門的な知識経験 を有する方に依頼をして いるため。 | 個人情報を扱う審査 会のため、受益者等 を公募する選定方法 は、馴染まない。 | 知識経験を有する者 | 総務課 |
| 南丹市行政不服審査会 | 行政不服審査法に基づく審査請求が あったときの市長等からの諮問に応 じて調査審議し、答申を行います。 | 5人 〔5人以内〕 | 会議の内容が審査請求に 関する調査、審議であ り、専門的な知識経験を 有する方に依頼をしてい るため。 | 審査請求を扱う審査 会のため、受益者等 を公募する選定方法 は、馴染まない。 | 知識経験を有する者 | 総務課 |
| 南丹市プロポーザル審査 委員会 | プロポーザル方式により業務等を受 託する事業者の候補者を選定するた め、選定を行う契約案件ごとに審査 委員会を設置し、審査を行います。 | (8人以内) | 審査内容に関する専門 的な知識経験を有する方 に依頼する必要があるた め。 | 専門知識を有する個 人を専任する必要が あり、公募は考えて いない。 | 学識経験を有する者、市 職員、その他市長等が必 要と認める者 | 各担当課 |

| 名称 | 概要 | 全体委員数 〔条例〕 | 公募を導入して いない理由 | 受益者等当事者 を公募すること の是非 | 選任方法 | 担当課 |
|--------------------------|---|----------------|---|---|--|-------|
| 南丹市指定管理者選定評価委員会 | 指定管理者の候補者選定等について、諮問を受け調査審議し、答申をします。 | 7人 (8人以内) | 専門的な知識経験を有する方に依頼する必要があるため。 | 専門知識を有する個人を専任する必要があり、公募は考えていない。 | 学識経験を有する者、市職員、その他市長が必要と認める者 | 総務課 |
| 南丹市環境審議会 | 南丹市の美しいまちづくり及び地球温暖化対策に関する審議等を行います。 | 10人 〔若干名〕 | 委員を選任する際に専門知識を有する団体・個人に就任いただく必要があるため。 | 公募の採用を検討したが、専門知識を有する団体・個人を選任する必要があるため、公募は行わない。 | 市内の各種団体の代表、学識経験を有する方、行政関係者 | 環境課 |
| 南丹市介護認定審査会 | 申請者の「基本調査にもとづく一次判定結果」「調査時の記述事項」「主治医による意見書」の内容をもとに審査・判定し、介護度等を判定します。 | 20人 〔20人以内〕 | 専門性を有するため公募は行わない。 | 引き続き専門性を有する者での組織化が必要である。 | 保健・医療・福祉の各分野に関する学識経験者 | 高齢福祉課 |
| 南丹市高齢者福祉センター運営委員会 | 南丹市高齢者福祉センターの運営について調査及び審議し運営の推進を図ります。 | 10人 〔15人以内〕 | 高齢者福祉センターがある地域の利用者に参加いただいている。また、参加いただきたい関係機関にも推薦依頼をし、選出いただいているため。 | 受益者＝各センターがある地域の利用者に参加いただいているため、現在のところ、公募は考えていない。 | 市議会議員、民生委員協議会、社会福祉協議会長、老人クラブ連合会会長、利用者代表等 | 高齢福祉課 |
| 南丹市高齢者虐待防止ネットワーク会議 | 家庭内等における高齢者虐待の防止に向けて、関係機関の連携を図り、早期発見や未然防止対策等について協議します。 | 14人 〔15人以内〕 | 専門性を有するため公募は行わない。 | 引き続き専門性を有する者での組織化が必要である。 | 保健、医療及び福祉関係者、介護保険事業関係者等 | 高齢福祉課 |
| 南丹市老人ホーム入所判定委員会 | 老人福祉法第11条に規定する措置の要否判定を行います。 | 7人 〔9人以内〕 | 専門性を有するため公募は行わない。 | 引き続き専門性を有する者での組織化が必要である。 | 医師、養護老人ホーム施設、特別養護老人ホーム施設、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、地域包括支援センター等 | 高齢福祉課 |
| 南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 | 高齢社会の課題に対処し、連携のとれた保健・福祉サービスの提供体制の確立を図ること及び介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画を定めます。 | 14人 〔20人以内〕 | 専門的な方、事業所や医療・福祉関係団体等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。 | 受益者＝65歳以上高齢者となるが、市民として、現状では団体の代表に参加していただいているので、公募は考えていない。 | 保健、医療及び福祉関係者、介護保険事業関係者、学識経験者等 | 高齢福祉課 |

| 名称 | 概要 | 全体委員数 〔条例〕 | 公募を導入して いない理由 | 受益者等当事者 を公募すること の是非 | 選任方法 | 担当課 |
|-------------------------|---|----------------|---|--|---|-------|
| 南丹市立障害者支援施設 運営委員会 | 障がいのため就業が困難な方等に対し、生活指導及び作業指導等必要な指導訓練を行い、障害者の自立更生と福祉の向上を図る施設を設置し、その施設の円滑な運営を図るため運営委員会を設置します。 | 15人 〔24人以内〕 | 専門的な方、保護者会代表者等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。 | 受益者等当事者は施設通所者となるが、その保護者会から代表者を選任いただいていることから、公募は考えていない。 | 学識経験者、市議会議員、保健福祉関係者、障害福祉関係者、社会福祉関係者、事業利用者家族の会 等 | 社会福祉課 |
| 南丹市障害者介護給付費等 支給認定審査会 | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第15条の規定に基づき、支給認定審査会において、適切な障害者介護給付費等支給認定審査を行います。 | 10人 〔15人以内〕 | 審議内容が個人情報であり、有資格者等専門的な委員での審議をしているため。 | 専門知識を有する団体から選出いただいております。公募は考えていない。 | 障がいのある方の実情に通じた者のうちから障害保健福祉の学識経験を有し、中立かつ公正な立場で審査が行える者 | 社会福祉課 |
| 南丹市地域自立支援協議会 | 障がいのある方の相談支援事業など地域の障害福祉のシステムづくりに関し、中核的な役割を果たし、障害福祉サービスの提供体制の確保及び関係機関によるネットワークの構築等に向けた協議を行います。 | 18人 〔20人以内〕 | 専門的な方、当事者団体代表者等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。 | 受益者＝市民として、現状で団体の代表を委嘱し、受益者等当事者は参画してもらっている。公募は考えていない。 | 学識経験者、保健福祉関係者、障害福祉関係者等 | 社会福祉課 |
| 南丹市子育て発達支援センター 運営委員会 | 障がいのある児童や発達支援の必要が認められる児童に対する必要な指導、訓練及び相談を行う南丹市子育て発達支援センターの円滑な運営を図ります。 | 15人 〔15人以内〕 | 専門的な方、保護者会代表者等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。 | 受益者等当事者は施設通所者となるが、その保護者会から代表者を選任いただいていることから、公募は考えていない。 | 学識経験者、市議会議員、保健福祉関係者、障害福祉関係者、社会福祉関係者、事業利用者家族の会、保育所・幼稚園・学校関係者 等 | 社会福祉課 |
| 南丹市健康増進・食育推進 計画策定委員会 | 市民の健康増進と食育推進を一体的に推進するために取り組みに関する計画策定について、検討頂くことを目的に開催します。 | 15人 〔15人以内〕 | 専門的な方、医療関係・市内の関係団体等、参加いただきたい関係機関に選出いただくため。 | 公募の採用を検討したが、専門知識を有する団体・個人を選任するため、公募は行わない。 | 学識経験者、医療関係者、市内の各種団体関係者、行政・教育関係者、その他市長が必要と認める者 | 保健医療課 |

| 名称 | 概要 | 全体委員数 〔条例〕 | 公募を導入して いない理由 | 受益者等当事者 を公募すること の是非 | 選任方法 | 担当課 |
|--------------|--|---------------------------|---------------------------------|--|---|---------------------|
| 南丹市上下水道事業審議会 | 上下水道事業の円滑な推進と健全な運営について審議します。 | 8人 〔会長、副会長及 び委員若干人〕 | 委員を選任する際に専門知識を有する団体・個人を人選しているため | 専門知識を有する団体・個人を専任しており、公募は考えていない。 | 市議会議員若干人、団体役員その他学識経験者 | 経営総務課・ 上水道課・下水道課 |
| 南丹市特別職報酬等審議会 | 市長、副市長及び教育委員会教育長の給料の額や、議会の議員報酬、非常勤の特別職の報酬の額等について審議します。 | 4人 〔10人以内〕 | 専門性を有する協議であるため、公募は行わない。 | 特別職等の報酬について審議するため、受益者等公募委員の考えには沿わない。 | 知識経験を有する者 | 人事課 |
| 南丹市防災会議 | 災害対策基本法第16条第6項の規定に基づき、南丹市地域防災計画を作成し、その実施を推進する。また、市の地域に係る防災に関する重要事項を審議します。 | 41人 〔45人以内〕 | 専門性を有する協議であるため、公募は行わない。 | 市民の安全・安心を確立するため、防災関係機関からの推薦により、委嘱している。 | 指定地方行政機関の職員、京都府の職員、警察官、南丹市職員、教育委員会、消防団関係者、指定公共機関又は指定地方公共機関の職員、自主防災組織を構成する者又は学識経験者 | 危機管理対策室 |
| 南丹市国民保護協議会 | 南丹市の区域に係る国民の保護のための措置に関し、広く住民の意見を求め、市の国民の保護のための措置に関する施策を総合的に推進します。 | 40人 〔40人以内〕 | 専門性を有する協議であるため、公募は行わない。 | 市民の安全・安心を確立するため、防災関係機関からの推薦により、委嘱している。 | 指定地方行政機関の職員、京都府の職員、警察官、南丹市職員、教育委員会、消防団関係者、指定公共機関又は指定地方公共機関の職員、自主防災組織を構成する者又は学識経験者 | 危機管理対策室 |
| 南丹市消防委員会 | 消防組織法(昭和22年法律第226号)第6条に規定する南丹市が責任を果たすべき消防に関し、必要な事項を調査審議し、市長の諮問に答え、又は建議します。 | 10人 〔10人以内〕 | 専門性を有する協議であるため、公募は行わない。 | 消防団員の幹部を委員として構成している。 | 消防団員、学識経験者 | 危機管理対策室 |
| 南丹市交通安全対策審議会 | 交通安全計画への答申など、交通安全に関する基本的事項を調査・審議します。 | 18人 〔20人以内〕 | 専門性を有する協議であるため、公募は行わない。 | 交通対策の受益者からなる各種団体から代表者を選出いただいている。 | 市議会議員、教育委員会委員、所轄の警察署員、市内教育機関の職員、各種団体の役員、消防団の代表者等 | 危機管理対策室 |

| 名称 | 概要 | 全体委員数 〔条例〕 | 公募を導入して いない理由 | 受益者等当事者 を公募すること の是非 | 選任方法 | 担当課 |
|-------------------------|---|----------------|---|---|---|-------|
| 南丹市建設事業等執行 審議会 | 市内における土木、建築等の工事の 円滑な執行に関し必要な事項を調査 及び審議します。 | 5人 〔10人以内〕 | 入札・契約制度を審議す るにあたり、専門的知識 を要するとともに、事案 があった場合の開催であ るため市民公募にはなじ まない。 | 公平・中立の観点か ら、受益者等当事者 は、建設業等の事業 者となるため、審議 会の目的になじまな い。 | 教育委員会委員、各種関 係団体代表、学識経験を 有する者 | 監理課 |
| 南丹市入札監視委員会 | 市が発注する建設工事について、入 札及び契約の過程並びに契約の透明 性と公正な競争を確保するため審議 を行います。 | 5人 〔5人以内〕 | 南丹市建設事業等執行審 議会の内部組織であるた め、上記と同様とする。 | 公平・中立の観点か ら、受益者等当事者 は、建設業等の事業 者となるため、審議 会の目的になじまな い。 | 南丹市建設事業等執行審 議会の委員による | 監理課 |
| 南丹市公共事業再評価審査 委員会 | 市が実施する公共事業のうち、長期 間を経過したものについて再評価を 行い、必要に応じ事業の見直し等 を行うことにより、公共事業の効率性 及び実施過程の透明性の一層の向上 を図るため審議を行います。 | 5人 〔7人以内〕 | 対象事案があった場合の 開催であるため、任期中 に開催されないことが多 くあり、市民公募にはな じまない。 | 受益者＝市民とし て、現状で団体の代 表を委嘱し、受益者 等当事者は参画して もらっている。公募 は検討していない。 | 学識経験者、住民組織等 | 監理課 |
| 南丹市医療対策審議会 | 市長の諮問に応じ、南丹市における 総合的な医療等のあり方について調 査、審議します。 | 一人 〔15人以内〕 | 専門的な協議会のため、 国民健康保険被保険者代 表等、参加いただきたい 関係機関に推薦依頼し、 選出いただいているた め。 | 専門知識を有する団 体から選出いただい ており、公募は考え ていない。 | 市議会が推薦する議員、 保健、医療及び福祉の関 係者、公共的団体等の代 表者、学識経験を有する 者、その他市長が必要と 認める者 | 地域医療室 |
| 南丹市文化財保護審議会 | 教育委員会の諮問に応じ、文化財の 保存及び活用に関する重要事項につ いて調査審議し、これらの事項に関 して教育委員会に建議します。 | 13人 〔15人以内〕 | 専門性が必要なため。 | 引き続き専門性を有 する者での組織化が 必要 | 委員及び専門委員は、学 識経験のある者及び文化 財に関し識見の高い者 の中から教育委員会が委嘱 します。 | 社会教育課 |
| 南丹市伝統的建造物群 保存地区保存審議会 | 教育委員会の諮問に応じ、保存地区 の保存等に関する重要事項について 調査審議し、及びこれらの事項につ いて教育委員会に建議します。 | 6人 〔15人以内〕 | 専門性が必要なため。 | 引き続き専門性を有 する者での組織化が 必要 | 学識経験者、関係行政機 関の職員、関係地域を代 表する者等のうちから、 教育委員会が委嘱しま す。 | 社会教育課 |
| 南丹市放課後児童健全育成 事業運営委員会 | 放課後児童健全育成事業の円滑な運 営を図るため、児童クラブの運営に ついて審議します。 | 12人 〔15人以内〕 | 委員を選任する際に関係 団体・個人を人選してい るため。 | 当事者として、保護 者選出委員が4名 含まれる。 | 議会、学校、保護者、主 任児童委員、社会教育委 員等の代表のうちから、 教育委員会が委嘱しま す。 | 社会教育課 |

(4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座

市長はじめ理事者や市職員が地域に出向き、まちづくりの方針や施策の方針を市民に伝えるとともに、市民の声を直接聞きます。

| 計画 | | | | 実績 | | | 担当課 | 評価・コメント |
|------|---|-----------------------------------|---|---------------------------|---|----|--|---------|
| 名称 | 概要 | 実施予定時期 | 意見交換等の手法 申込み方法 | 実施日 | 実績 (参加人数等) | 備考 | | |
| 出前講座 | 市民に、市政に関心を持っていただき、地域づくりに役立てていただくため、希望される地域に市職員が講師として出向き事業や施設等について説明します。 | 年中 (各講座の開講日程は申込者との調整により決定します。) | 市内在住・在勤・在学のおおむね10人以上の団体の集まりを基本とします。希望日の3週間前までに申込書を提出いただきます。詳細は秘書広報課(0771-68-0065)にお問い合わせください。 | R5年4月1日 ～ R5年12月31日 | 参加：161人 4回開催 第1回30人参加 第2回8人参加 第3回23人参加 第4回100人参加 | | <p>期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点)</p> <p>※委員会での審議でのみ使います。 市民に対しての公表は行いません。</p> <p>コロナ5類引き下げにより、徐々に出席講座を要請いただける団体が増えてきた。防災に関心が高いことが伺える。</p> | |

説明会・出前講座

| 分野 | No. | 講座名 | 主な内容 | 担当課 |
|------|-----|--------------------|--|---------|
| 総務 | 1 | 地域防災対策 | 南丹市地域防災計画と災害に対する日ごろの構え、災害時の行動などについて説明 | 危機管理対策室 |
| | 2 | 南丹市交通安全運動 | 南丹市と関係機関による交通安全の取組について説明 | |
| | 3 | 公共施設の再編について | 公共施設等総合管理計画、公共施設再配置計画について説明 | 総務課 |
| | 4 | 投票所の再編について | 選挙における投票所の再編に関して南丹市選挙管理委員会の考えについて説明 | |
| | 5 | 市税のあらまし | 市税の概要と仕組みについて説明 | 税務課 |
| 地域振興 | 6 | 南丹市総合振興計画等 | 南丹市総合振興計画等の内容について説明 | 企画財政課 |
| | 7 | 南丹市の定住促進 | 南丹市が行う定住促進について説明 | 地域振興課 |
| | 8 | 南丹市の景観まちづくり | 南丹市の優れた景観を守るための南丹市景観計画の説明とそれに係る届け出制度について説明 | |
| | 9 | 認可地縁団体制度のあらまし | 認可地縁団体の設立から運営方法について説明 | |
| | 10 | 南丹市の公共交通の現状 | JR複線化やバス交通について説明 | |
| | 11 | 市民協働のまちづくり | 市民と行政の協働によるまちづくりについて説明 | |
| | 12 | 南丹市情報化推進計画等 | 南丹市情報化推進計画の内容や、地域の方が地域内のデジタル弱者を支援する仕組みづくりについて説明 | 情報課 |
| 市民 | 13 | 南丹市環境基本計画 | 南丹市環境基本計画の内容について説明 | 市民課 |
| | 14 | ごみの分別・排出方法とごみ処理の現状 | ごみの分別・排出方法と目的及びその効果、また市のごみ処理方法・処理量などについて説明 | |
| | 15 | 医療制度のあらまし | 国民健康保険や後期高齢者医療制度の内容について説明 | |
| | 16 | 人権感覚の豊かな社会を構築するために | 南丹市人権教育・啓発推進計画に基づき、市が実施する人権啓発の取り組みや基本的な考え方などについて説明 | 人権政策課 |
| | 17 | 男女共同参画社会の実現に向けて | 南丹市男女共同参画推進条例、南丹市男女共同参画行動計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けての市の取り組みなどについて説明 | |

| | | | | |
|------|----|----------------|---|--------|
| 福祉保健 | 18 | 南丹市の健康推進事業 | 生活習慣病予防（メタボリックシンドロームなどの生活習慣病とその予防）について説明 | 保健医療課 |
| | 19 | 南丹市の母子保健事業 | 子どもの発育・発達や育児、離乳食、予防接種について説明 | |
| | 20 | 南丹市の障がい者福祉 | 南丹市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画や障がい者福祉施策及び事業内容について説明 | 社会福祉課 |
| | 21 | 成年後見制度について | 成年後見制度についての説明 | 福祉相談課 |
| | 22 | 南丹市の高齢者福祉 | 南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画や高齢者福祉施策及び事業内容について説明 | 高齢福祉課 |
| | 23 | 南丹市の子育て支援 | 子育て支援施策及び事業内容について、南丹市子ども・子育て支援事業計画について、要保護児童対策の現状と児童虐待防止の啓発について | 子育て支援課 |
| 農林商工 | 24 | 農業振興支援 | 農業振興に対する支援施策について説明 | 農業推進課 |
| | 25 | 林業施設の整備、林業振興対策 | 林業施設の整備及び林業振興に対する支援施策についての説明 | 農山村振興課 |
| | 26 | 南丹市の観光 | 南丹市における観光振興について説明 | 観光交流室 |
| | 27 | 南丹市の商工振興 | 南丹市の商工振興について説明 | 商工課 |
| | 28 | 消費生活相談 | 消費生活関連の説明 | |
| 土木建築 | 29 | 南丹市の都市計画 | 南丹市における都市計画の現状と今後について説明 | 都市計画課 |
| | 30 | 道路と河川の維持管理 | 南丹市における道路と河川の維持管理の現状について説明 | 道路河川課 |
| | 31 | 道路と河川事業 | 道路および河川事業について説明 | |
| | 32 | 南丹市の公営住宅 | 南丹市における公営住宅の現状について説明 | 営繕課 |
| 水道 | 33 | 南丹市の上水道 | 南丹市における上水道の現状と今後について説明 | 上水道課 |
| | 34 | 南丹市の下水道 | 南丹市における下水道の現状と今後について説明 | 下水道課 |
| 教育 | 35 | 南丹市の幼稚園、小・中学教育 | 南丹市における幼稚園から小中学までの学校教育の現状について説明 | 学校教育課 |
| | 36 | 南丹市の歴史と文化 | 南丹市の歴史について説明 | 社会教育課 |

(5) アンケート

| 計画 | | | | | | 実績 | | | 担当課 | 評価・コメント |
|--------|---|--------------------------|---------------|-----------------------|-------------|-------------------------------------|--------------|---------------------|-------|--|
| 事業名 | 実施目的 (活用方法) | アンケートの 調査方法・実 施方法 | 実施予定時期 | アンケートの 対象者 (人数) | 結果の 公開可否 | 実施時期 (月) | 実績 (回答数等) | 備考 (結果の掲 載場所) | | |
| 市民意識調査 | 南丹市総合振興計画の進捗管理のため、市民が日頃感じていることや市民ニーズ等を把握し、その結果を今後の計画策定の基礎資料として活用する。 | 無作為抽出、調査票を郵送、回答はオンラインを併用 | 毎年度 9～11月頃 | 2,500人 | 可 | R5年11月 10日 ～ R5年11月 30日 | 集計中 | ホームページ | 企画財政課 | <p>期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。</p> <p>(例：アンケートの方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点等)</p> <p>※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p>オンライン併用や設問数の調整、デザインの変更により回答数増を期待したが、回答数は昨年度をやや下回る見込みである。</p> |

(6) 共同研究

大学等の学生の受け入れや、大学や企業との連携を積極的に推進し、学生の政策形成能力を養成するとともに、地域における協働を推進し専門的分野から地域課題の解決を促します。

| 計画 | | | | 実績 | | | 担当課 | <p style="text-align: center;">評価・コメント</p> <p>期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：大学等の学生の受け入れや大学・企業と連携するための機会を設けたか、機会を設けた結果どのような成果があったか、良かった点、上手くいった点、課題点 等)</p> <p style="text-align: center;">※委員会での審議でのみ使います。 市民に対しての公表は行いません。</p> |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--------|--------------|----------------------------|---|----|-------|--|
| 名称 | 概要 | 実施予定時期 | 調査結果を反映させる事業 | 実施時期 | 実績 (実施内容等) | 備考 | | |
| 南丹市内の高等教育機関ならびに連携協力包括協定締結大学との共同研究 | 明治国際医療大学、京都府立大学、佛教大学との連携を進めます。 | 随時 | 各課の事業に反映 | R6年3月 実施予定 | ・明治国際医療大学との連携協力会議の実施 | | 地域振興課 | 明治国際医療大学との連携協力会議の実施を3月に予定。 |
| インターンシップ実習生の受入 | 市役所における総合的就業体験を通じて学生の政策形成能力を養います。 | 有 | 学生の希望等に応じて決定 | R5年7月5日～10日、 10月23日～27日 | ◇第9回京都丹波トリアスロン大会開催準備・運営補助 ◇ふるさと納税に係る事務補助 | | 人事課 | 前期・後期に分け、2事業での就業体験をプログラム化した。スポーツを通じた地域振興行政、市の収入源の一つであるふるさと納税の仕組み等を理解・実習頂く機会を提供した。 |

(7) 市民との協定

市民と行政の協定により、新たなまちづくりの仕組みづくりや施策等の実施を積極的に進めます。

| 計画 | | | | 実績 | | 担当課 | 評価・コメント |
|------|------------------------------------|-------------|--------------|-----------|----|-------|--|
| 名称 | 概要 | 提案募集の実施予定時期 | 対象者（地域） | 実績（締結件数等） | 備考 | | |
| 景観協定 | 地域で特徴的な景観についての協定を地域住民等で結び、市が認定します。 | 随時 | 景観計画区域（美山管内） | 0件 | | 地域振興課 | <p>期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 （例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点・上手くいった点、課題点 等）</p> <p>※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p>現状の協定締結件数は0件ですが、景観協定の提案について市HPに掲載しており、認可申請様式に加え計画の中で景観協定について記載しているページを抜き出して紹介することで、随時提案や相談がしやすいよう広報している。</p> |

(8) その他の市民参加手続きの実施

その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。(例：陳情、ご意見箱など)

| 計画 | | | | 実績 | | | 担当課 | 評価・コメント |
|----------------|--|----------------------------|---|---------------------------|------------------------|-----------------------------------|--------|--|
| 名称 | 概要 | 実施予定時期 | 要望等の対応方法 | 実施時期 | 実績 (実施回数、 受付件数等) | 備考 | | |
| 子育て支援関係団体意見交流会 | 南丹市内に拠点を置いて活動されている子育て支援に関する団体や子育て支援拠点事業に関わりのある団体等が集い、各団体の活動に理解を深めると共に、市内の子育ての環境や課題について共有します。 | 毎年2月頃 | 課題を検証し、対応します。 | R6年2月実施 予定 | 1回実施 | 南丹市内の子育て支援に携わる主な団体が集まり、交流会を実施する予定 | 子育て支援課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：広報の方法が適切であったか、交流会の内容が市民の意見を上手く引き出せるものであったか、良かった点、上手くいった点、課題点等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 |
| 子育て広場での意見箱設置 | 子育て広場の利用しやすい運営を目指し意見箱を設置します。 | 年間 R5年4月1日～ R6年3月31日 | 課題を検証し、対応します。 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | ご意見なし | | 子育て支援課 | 子育て広場の玄関に設置し、利用者が投函しやすい環境を整えています。 |
| 南丹市政へのご意見箱 | ホームページ及び本庁と各支所の窓口に「南丹市政へのご意見箱」を開設・設置し、意見や提言等を募集します。 | 随時 | 投稿された方が匿名、連絡先無記入などの場合を除き、できる限り個別に回答します。また、寄せられたご意見・ご提言の中から、より多くの市民の皆さんと情報共有すべきと思われるものについては、ホームページ上の「南丹市政へのご意見箱」に随時掲載します。ただし、内容によっては回答及び公開を控えさせて頂く場合もあります。 | R5年4月1日 ～ R5年12月31日 | 54件受付 | | 秘書広報課 | 毎年多くの意見や問い合わせをいただいております。窓口的な役割を果たしていると感じています。一方で匿名性が高いため、議論を経ずに出される意見も多い。 |

第3章 協働

市民と行政がそれぞれの役割を自覚し、対等かつ自由な立場で互いを尊重し、役割分担及び補完しあいながら公共的課題の解決に当たることです。

Partnership

市民のみなさんの価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民のまちづくりに対するニーズもますます高度化・多様化しており、行政が現在のシステムでこれら全てに答えていくことは困難な状況となっています。だれもが安全安心で快適に暮らせる魅力あるまちを実現するためには、行政主導型のまちづくりではなく、市民や企業、行政がともに自分たちの役割を理解し合い、それぞれの弱みを、それぞれの強みで補いながら、さまざまなニーズに対応する必要がある、それを実現する仕組みが「市民協働」です。

普段の生活で意識せずに行っていることも多く、今後もそれぞれができることを取り組むことで、まちが元気になる仕組みづくりを進めます。

1. 協働の形態

公共の課題の解決のため、委託、支援等の協働における多様な形態のうち、適切かつ効果的であると認められるものを実施するよう努めるものとします。

- (1) 事業の委託
- (2) 協働（共催）
- (3) 協働（事業協力）
- (4) 協働（支援・補助）

(1) 事業の委託

市が実施責任を負う事業を民間の団体などに実施いただくものです。その事業が効果的に実施できるよう内容によって地域や市民団体等へ委託します。
(現在実施している、若しくは今後実施予定の委託事業)

| 計画 | | | | 実績 | | 担当課 | 評価・コメント |
|-------------------|---|-------------------------------------|--------|---|-----------------------------------|-------|--|
| 事業名 | 事業の概要 | 事業を委託する団体の条件など | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績 (委託先名称等) | | |
| ものづくりのまち推進業務 | さまざまな分野で活躍する個人の工芸家が相互交流し、連携することにより魅力を引出し、情報発信をすることのできる体制をつくります。 | 伝統工芸や工業製品の振興を支援し新たな特産品をつくることのできる団体 | 4月 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 南丹市工芸家協会 | 地域振興課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例；事業が効果的に実施できるよう取り組むことができたか、事業に取り組んだ結果どのような成果が得られたか、良かった点、上手くいった点、課題点 等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 |
| 南丹市国際交流推進事業 | 市民レベルでの国際交流を活性化させ、外国人住民が安心して暮らせる多文化共生社会の実現を推進します。 | 外国文化との交流を推進するノウハウを持つ団体 | 4月 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 南丹市国際交流協会 | 地域振興課 | 1年を通じて外国人向け日本語教室、市民向け外国語教室などの言語学習支援を実施。 併せて、外国人の方からの生活相談を受け付け、関係機関への仲介支援を実施。 また、外国人住民と市民の相互交流を図るための事業を複数実施している。 |
| まちづくりデザインセンター業務委託 | まちづくり活動を推進するため、その拠点として「南丹市まちづくりデザインセンター」を設置し、市民活動を推進します。 | まちづくりデザインセンターの業務を担えるNPO法人 | 4月 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | NPO法人テダス | 地域振興課 | 設置当初よりNPO法人テダスに業務委託している。同法人には、高い専門性と知識、経験を持ったスタッフがおり、団体運営や各種補助金事業の申請サポートなど、市民活動団体の相談窓口として効果的に運営いただいている。 |
| 学生交流プロジェクト | 地域・大学・学生が直接つながる機会を提供し、地域での大学や学生との連携を促進します。 | 学生と地域の交流を促し、企画の立案まで導くプログラムの調整ができる団体 | 4月 | 団体募集：R5年6月23日～ R5年7月21日 学生募集：R5年9月13日～ R5年10月27日 (締切後も追加募集受付) | NPO法人テダス 協力団体：くらす ららループ | 地域振興課 | 参加学生の募集を行ったが、ららループに2件、くらすへの応募は0件という結果になり、締切後も随時追加応募を受け付けている。 大学やゼミを通じた申請ではなく、学生個人に主体的に応募してもらう事業のため周知方法が難しく、模索している。効果があった広報はコンビニへのポスター掲示で、実際にこちらによる応募があった。 学生主体で地域と関わる感覚を身に着ける意義は大きいと考えており次年度も継続予定だが、学生募集の時期、広報手段を見直す必要がある。 |

| 計画 | | | | 実績 | | 担当課 | 評価・コメント |
|-----------------|---|--------------------------------|--------|--------------------------|-------------|-----------------|--|
| 事業名 | 事業の概要 | 事業を委託する団体の条件など | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績(委託先名称等) | | |
| ひとり親家庭生活支援事業 | ひとり親家庭への育児や健康、必要な手続き等について講習会等を開催し、支援と対象者の情報交換の場とします。 | ひとり親家庭と日常つながりのある団体 | 通年 | R5年12月3日 | 母子寡婦福祉会 | 子育て支援課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例；事業が効果的に実施できるよう取り組むことができたか、事業に取り組んだ結果どのような成果が得られたか、良かった点、上手くいった点、課題点等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対する公表は行いません。 |
| 子育てつどいの広場開設運営業務 | 親子の交流や相談に応じる地域子育て支援拠点事業を民間委託により実施します。 | 子育て支援に関わるNPO法人 | 通年 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | NPO法人グローアップ | 子育て支援課 | NPO法人グローアップにより、子育てつどいの広場を開設しています。八木を拠点ひろばとして、週5回開設するほか、園部・日吉・美山でも出張広場として、週に1回開設しています。 12月末時点 延べ利用者 4,833人 |
| 利用者支援事業 | 子育て家庭のニーズに合わせ、幼稚園・保育所の施設や地域の子育て支援などから必要な支援を選択して利用できるよう、情報提供、相談・援助を行うとともに、関係機関との連絡調整を行います。 | 子育てすこやかセンター内 子育て支援に関わるNPO法人 | 通年 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | NPO法人グローアップ | 子育て支援課 | 直営事業、委託事業を合わせて、延べ440件の相談を受けている。利用者の不安に寄り添いアドバイスや情報提供をし、必要に応じて関係部署へつないだ。 |
| 産前・産後サポート事業 | 妊娠届出時に申し込みを受け付け、マタニティ訪問を行い、妊産婦やその家族が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みについて、保健師や助産師、看護師等の専門家、子育て経験者及びシニア世代等による相談支援を行います。また、支援が必要な家庭に訪問支援サービスを行うことにより、家事支援、育児支援を行います。 | 子育て支援に関わるNPO法人 | 通年 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | NPO法人グローアップ | 子育て支援課 保健医療課 | マタニティ訪問や個別の相談等から産前産後の支援が必要と判断した者に対し、支援プランを立て、訪問支援サービス(家事支援、育児支援)を実施。*訪問支援サービスの実施件数 9件 |
| 京都府管理河川環境整備作業委託 | 南丹市内の府管理河川(一級河川及び二級河川)の環境維持の作業を行います。 | 自治会を母体とする団体等 | 5月 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 自治会等64団体 | 道路河川課 | 河川及び周辺環境の保全が図れた。 |

(2) 協働（共催）

市民と市が共に主催者（事業主体）となって事業を実施するもので、南丹市が参画する実行委員会等の組織で事業を実施するものです。

（現時点での共催事業及び今後実施予定の共催事業）

| 計画 | | | | 実績 | | | 担当課 | 評価・コメント |
|-------------------|----------------------------|-----------------|-------------------------------------|-----------------------|--|---|-------|---|
| 事業名 | 事業の概要 | 共催する相手 | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績 (実施内容・参加人数等) | 備考 | | |
| 男女共同参画事業『キラリなんたん』 | 男女共同参画の視点で市民対象の啓発事業を実施します。 | 南丹市女性ネットワーク会議 | 男女共同参画週間（6月） | R5年7月2日 | 映画上映を実施 参加人数：346人 | 映画「最高の人生の見つけ方」 | 人権政策課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点 等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 |
| 人権講演会やフォーラム | 人権に関する市民啓発事業を実施します。 | 南丹市人権教育・啓発推進協議会 | 人権強調月間（8月）人権講演会 人権週間（12月）人権フォーラム | ①R5年9月2日 ②R5年12月9日 | ①講演会を実施 参加人数：106人 ②講演会を実施 参加人数：117人 | ①テーマ：命 演題：「笑顔の戦士～生きているって幸せ～」 講師：道志 真弓 ②演題：『一緒に考えるということ～私たちは「部落差別」にどう向き合っていくか～』 講師：三木 幸美 | 人権政策課 | ①定員400名に対し参加者106名と見込みを下回る結果となったものの、アンケートの調査結果では84名が“人権問題についての関心や理解が深まった”と回答されており、講演内容としては人権に関して研鑽いただく良い機会となった。 ②チラシを作成のうえ区長配布。ホームページ、公式LINEに記事を掲載。チラシの作成が遅くなったため、区長配布から広報周知期間が十分取れなかった。広報周知期間が十分取れるよう改善していきたい。 |

(3) 協働（事業協力）

市民と市が相互の役割を定め、協力して事業を実施するものです。
 （現時点での事業協力及び今後実施予定の事業協力）

| 計画 | | | | 実績 | | | 担当課 | 評価・コメント |
|------------------|---|--|-----------------------------|--------------------------|--|----|--------|--|
| 事業名 | 事業の概要 | 役割分担など | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績 （実施内容・参加 人数等） | 備考 | | |
| 南丹市子育てすこやかセンター事業 | 主に保育所や幼稚園に在籍するまでの親子の居場所と相談の場を提供します。お話しなどの行事についてボランティア団体の協力を得て開催します。 | 市民 ボランティア団体が内容を企画し実施 行政 子育てすこやかセンターが行事枠を確保 | 通年 | 通年 | 計5回のお話を実施 参加人数：延べ91人 | | 子育て支援課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 （例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点 等） ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 |
| 障害者相談員設置事業 | 地域の実情に精通した市民を相談員として、障がいのある方や家族の目線に立った相談支援を行い、行政や専門機関とのパイプ役として活動していただきます。 | 市民 身近な地域で障がいのある方からの相談対応、旧町単位で月1回のなんでも相談日の開催など 行政 相談員が受けた相談のうち専門的支援が必要な場合の対応、活動内容の周知、相談員への研修、謝礼・保険料の支出など | 旧町単位で月1回のなんでも相談日を開催する | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 旧町単位で月1回のなんでも相談日を実施 | | 社会福祉課 | 地域の実情に精通している市民を障害者相談員として委嘱し、身近な地域において、当事者や家族のニーズに寄り添い、地域での安定した生活の実現に向けて、様々な情報提供や自己決定に必要な提案・助言・支援を行った。 また、なんでも相談の開催日について、ホームページ・お知らせなんたんてで毎月広報し、市民への適切な周知を行った。 |
| ふるさと道路・河川愛護活動 | 京都府が管理する生活に密着した道路や河川を市民のみならずと一掃に、大切に維持保全することで、その安全性や郷土愛を高め、美しい魅力あふれるまちの実現と公共施設としてのマナー向上に取り組みます。 | 市民 ごみ拾い、除草、花の植栽、樹木の選定、不備や危険個所の情報提供 行政 不備や危険を解消するための維持修繕 | 通年 | 通年 | 除草・清掃作業を実施 登録団体数：33団体 | | 道路河川課 | 市民による道路等の清掃活動等及び道路管理者による道路修繕により、公共施設の維持保全が図れた。 |
| なんたん健康ポイント | 健康ポイント事業は、専用の活動量計（またはスマホの専用アプリ）を持ち歩き、定期的に健康ステーションで体重や脂肪や筋肉の量を測ることで、自分のからだの事や活動の状況を「見える化」します。 | 市民（参加者） 事業を通じて主体的に健康づくりに取り組む 企業・事業者 賞品等の提供により参加者の健康づくりを支援 行政 事務局として市民の健康を推進 | 4月に参加者を募集する。 年度末まで事業を実施。 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 健康都市応援事業所 7カ所→10カ所に増加 健康ポイント参加企業 二九精密機械工業20名 ※R5年度なんたん健康ポイント参加者1435名 | | 保健医療課 | 今年度は、健康まちづくりに取り組みを通して、新たに健康都市応援事業所の申請が3件あった。申請の広報は例年実施しているが、今年度は健康まちづくりの事業に関する取り組みの中で、直接依頼する機会があり、申請につながった。 健康ポイント事業の企業での取り組みも今年度広がっている。二九精密機械工業は、健康都市応援事業所でも登録されていて、社員の健康づくりに、健康ポイント事業を今年度から活用していただいている。 |

(4) 協働（支援・補助）

市民が自発的・自主的に行う公共的な事業に対し、市が財政的支援や物的支援などを行うものです。

財政的支援 このほかにもさまざまな団体による支援情報などがありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

| 計画 | | | | | 実績 | | | 連絡先 | 担当課 | 評価・コメント |
|--------------------|---|---|----------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------|----|--------------|-------|---|
| 事業名 | 事業の概要 | 支援・補助の内容 | 申請方法など | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績 (申請件数等) | 備考 | | | |
| 南丹市まちづくり活動交付金 | 市民団体等が提案する公共性及び公益性の高い新たなまちづくり活動に要する経費を補助します。 | 1年目 上限20万円・3/4 2年目 上限15万円・2/3 3年目 上限10万円・1/2 | 申請書をご提出ください。 | 令和5年4月14日 ～ 令和5年6月30日 | 令和5年4月14日 ～ 令和5年6月30日 | 交付決定：7件 申請件数：9件 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください (例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点 等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対する公表は行いません。 |
| 南丹市学校提案型まちづくり活動交付金 | 京都府下の大学・大学院・短期大学・専修学校が提案する公共性及び公益性の高い新たなまちづくり活動に要する経費を補助します。 | 上限20万円 補助率 10/10 | 申請書をご提出ください。 | 令和5年4月14日 ～ 令和5年6月30日 | 令和5年4月14日 ～ 令和5年6月30日 | 交付決定：5件 申請件数：5件 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 今年度も予算枠の上限となる5件の申請があった。 事業内容について、研究やパンフレット等の作成自体が事業のゴールとなりがねないケースがあるので、成果物を通じて継続的に地域との関わりや地域への還元がなされる事業を実施してもらうよう注意する。 |
| 南丹市学生提案型まちづくり活動交付金 | 学生団体が、地域団体と連携・協働して南丹市内で実施する地域貢献活動に要する経費を補助します。 ※学生団体：高等学校、大学、大学院、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、専修学校に所属する学生により構成された団体 | 上限10万円 補助率 10/10 | 申請書をご提出ください。 | 令和5年4月14日 ～ 令和5年6月30日 | 令和5年4月14日 ～ 令和5年6月30日 | 交付決定：3件 申請件数：3件 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 前年度の1件に対し、今年度は3件の学生団体より申請があった。 硬い印象のある募集要項を市民団体向け同様に見直し、学生主体の地域貢献活動を推進する。 |
| 空き家掘り起こし事業 | 区などが空き家の所有者などに空き家バンクへの登録を働きかけることにより、その所有者などが登録に同意され、空き家バンクに新規登録された場合に報奨金を支給します。また、その空き家が新規活用された場合、上乗せして報奨金を支給します。 | 空き家バンク登録 1物件につき3万円支給 空き家新規活用 1物件につき2万円を上乗せして支給 | まずはお問い合わせください。 | 毎年度実施 | R5年4月1日 ～ R5年12月31日 | 登録9件 活用0件 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 地縁の強みを生かした地域団体の活動を支援したことにより、空き家バンクの登録物件が増加し、空き家の有効活用と定住促進につながる素地ができた。 また、地域団体の定住促進に関する機運が高まった。 |

| 計画 | | | | | 実績 | | | 連絡先 | 担当課 | 評価・コメント |
|------------------------|---|---|---|---------------|---------------------------|-----------|----|--------------|---------|--|
| 事業名 | 事業の概要 | 支援・補助の内容 | 申請方法など | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績(申請件数等) | 備考 | | | |
| 空き家掃除お助け事業 | 空き家バンクに登録された空き家や新規活用が見込まれる空き家について、区などがその所有者などの同意を得た上で、地域ぐるみで家財道具の撤去作業などを行う場合、区などに対して、廃棄物処分費のうちバケツ代を補助します。 | 1物件につき20万円を上限に補助 | まずはお問い合わせください。 | 随時募集 | R5年4月1日 ～ R5年12月31日 | 7件 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください (例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点 等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 |
| 南丹市管理道路・河川等清掃補助金交付 | 市民により組織された清掃ボランティア団体が行う、市管理の道路・河川及び公園の清掃活動に必要な保険料掛金や草刈機の燃料代等の全部又は一部を支援します。 | 1実施団体2万5千円を上限に、清掃活動参加者1名当たり年額500円を基本とします。 | 当該補助金交付要綱によります。 | 随時募集 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 31件 | | 0771-68-0051 | 道路河川課 | 地域内の道路河川等の周辺環境を保全し、生活環境の向上が図れた。 |
| 南丹市資源ごみ集団回収事業 | 家庭生活のなかから排出される資源ごみ(古布、新聞紙、雑誌、チラシ、ダンボール)の集団回収を自主的に実施する地域住民により構成された団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付します。 | (5円〔kg当たり単価〕一業者買上単価〔kg当たり〕)×回収量(kg)=報奨金 | 5/31までに団体登録申請いただいた団体が対象となります。実施月ごとに、計量証明書、納品書など、業者の【買上単価】および【回収量】のわかる書類を添付し、交付申請ください。 | 毎年度実施 | R5年4月1日 ～ R6年2月29日 | 141件 | | 0771-68-0085 | 環境課 | 団体登録数は昨年度と同程度。 左記の回収実績は12月末でのものであるが、現時点において、昨年度比で減少している。衛生管理組合での収集や店舗での回収、また、紙類等の消費の減少もあり、原因が特定できないが、事業実施による市民の意識向上に繋がっていると考えている。 |
| 南丹船井交通安全協会南丹支部活動補助金 | 組織運営に対して、定額補助を行います。南丹船井交通安全協会南丹支部と連携する啓発活動により交通死亡事故の減少を図ります。 | 300千円/年 | 申請団体は南丹船井交通安全協会南丹支部に限ります。 | 年度当初募集 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 1件 | | 0771-68-0021 | 危機管理対策室 | 本補助により、円滑な組織運営が図られ、啓発活動が適切に行われる。 |
| 南丹船井地域交通安全活動推進協議会活動補助金 | 組織運営に対して、定額補助を行います。南丹船井地域交通安全活動推進協議会と連携する啓発活動により交通死亡事故の減少を図ります。 | 40千円/年 | 申請団体は南丹船井地域交通安全活動推進協議会に限ります。 | 年度当初募集 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 1件 | | 0771-68-0021 | 危機管理対策室 | 本補助により、円滑な組織運営が図られ、啓発活動が適切に行われる。 |
| 自主防災組織育成事業 | 地域の自主的な防災活動に対して補助します。 | 各団体の防災事業に対して補助を行います。 | まずはお問い合わせください。 | 年度中募集(年度内完了要) | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | 6件 | | 0771-68-0021 | 危機管理対策室 | 本補助により、各組織の活動を支援することが出来た。 |

モノ支援

このほかにも多くの備品が貸し出せる場合がありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

| 計画 | | | | | 実績 | | | 連絡先 | 担当課 | 評価・コメント |
|-----------------------------|---|--|---|--------------------|------|---|----|---|------------------------|--|
| 事業名 | 事業の概要 | 支援・補助の内容 | 申請方法など | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績(申請件数等) | 備考 | | | |
| まちづくり活動に必要な機材、備品、書籍の貸出、名刺作成 | 南丹市まちづくりデザインセンターに登録(登録料年間1,000円)した団体に無料または有料で貸し出します。 | コピー機、輪転機、ラミネーター、FAX、プロジェクター、ビデオカメラ、デジタルカメラ、ホイレスコーダー、三脚、フロアマット、鬼の衣装、ガチャガチャ機、書籍等の貸出、展示ブース、会議スペースの貸出、名刺作成 | 南丹市まちづくりデザインセンターにお申し込みください。 | 随時受付 | 随時 | <ul style="list-style-type: none"> 登録団体56団体 支援を受けることを目的に、延べ495人が来館。それら市民に対し、備品や書籍等の貸出しを行った。 展示ブース利用8団体 会議スペースの利用8件 名刺作成：8人 | | 0771-68-3555 | まちづくりデザインセンター | <p>期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。</p> <p>(例：広報の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手かった点、課題点 等)</p> <p>※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p>例年並みではあるが、期待していた程度の成果を得られることができたようである。しかし、センターオープン当初から課題として、美山町在住者や団体が利用しにくい立地にあることから、利用者の割合としても美山町民が極端に少ない。この数年、不調のため来館者に不便を感じさせていた輪転機だったが、1月に交換を行うことができた。</p> |
| ひとものカタログ | 市内の各団体が貸し出せるひと・もの等の情報をとりまとめました。(令和5年度更新予定) | ひと・もの | カタログを参考ください カタログは、地域振興課・まちづくりデザインセンターで配布しているほか、市HPにも掲載しています。 | 随時追加受付 随時カタログ配布 | 随時 | <ul style="list-style-type: none"> 受付 ひと情報86件 もの情報202件 場所情報19件 配布約500件 | | (市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555 | 地域振興課 まちづくりデザインセンター | <p>前回(2019年度版)の際には、「掲載しているが、積極的でない」という情報も含まれ、それに対するクレームも少なからずあった。そのため、今回は「お願いして掲載させてもらう」というニュアンスを弱め、「よければどうぞ」というお誘いに留めて情報収集を図った。その結果、純度の高いカタログになったように思う。課題としては、文化協会等への社会教育関連団体への周知はあまり進めることができなかった。縦割りを越えた連携が不十分だったように感じられる。</p> |
| 積み木の貸出 | ものづくりを通して親子交流を図る体験講座で制作した積み木と市内NPOに制作を依頼した積み木を親子交流が図れるイベント等に貸し出します。 | 積み木及びマット等の貸出 | 随時申し込みを受付し、貸出簿に記載。申請用紙が有ります。 | 随時受付 | 随時 | 3件 | | 0771-68-0017 | 子育て支援課 | <p>3件とも異なるイベント・団体から貸し出しの申請があり、いずれも親子交流が図れるイベントで使用されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ウッド住まいのフェア(坂矢木材㈱) ほこほこクラブによる縁日イベント(NPO法人グローアップ) ここたすのクリスマスイベント(ここたす) |

ヒト・ノウハウ支援

このほかにも多くの情報等を提供できる場合がありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

| 計画 | | | | | 実績 | | | 連絡先 | 担当課 | 評価・コメント |
|--------------|---|------------------------------------|--------|--------|---------------------------|---------------------|----|--------------|-------|--|
| 事業名 | 事業の概要 | 支援・補助の内容 | 申請方法など | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績(申請件数等) | 備考 | | | |
| 食育推進事業 | 食の情報提供などを通して、広く市民に食育推進を図ります。 | 専門職(栄養士)の協力、レシピ等の教材を提供、貸し出します。 | 随時連絡 | 随時受付 | R5年4月1日 ～ R6年3月31日 | R5健康レシピ配布数 4923件 | | 0771-68-0016 | 保健医療課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：情報発信の方法が適切であったか、市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか、良かった点、上手くいった点、課題点等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 健康レシピを年4回作成し、窓口来所者、保健事業参加者、健康ポイント送信拠点等で配布している。 |
| 集落の教科書づくりの推進 | 集落がI・Uターン者などを迎えるに当たって、地域独自の情報発信を行うツールとして、地域のルールや集落の基本的事項をまとめた冊子の作成を推奨します。 | 教科書づくりを支援し、空き家バンクとの連動や情報発信などを行います。 | 随時連絡 | 随時受付 | R5年4月1日 ～ R5年12月31日 | 0件 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | nancla(なんくら)ホームページにて過去に作成された集落の教科書を掲載し、継続的に情報発信している。 |

第4章 仕組み

Structure

～協働をすすめる仕組みづくり～

協働を推進するうえでは、お互いが情報を共有し、理解し合い、どのようなまちにしたいかを一緒に話し合う場が必要です。行政が積極的に情報を発信し、市民との意見交換や交流の場を積極的にもち、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みづくりを積極的に進めます。

1. 協働をすすめる仕組み

- (1) 情報を積極的に発信します。
- (2) 意見交換の場や交流の仕組みをつくります。
- (3) まちづくりデザインセンターを中心とした、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みをつくります。

(1) 情報の積極的な発信

行政には情報が集まりやすいという特性があり、個人情報等を除き、これらを積極的に市民に提供することは協働の推進にとって大変有意義です。さまざまな冊子やニュースなどをできる限り可視化し、市民に積極的な情報提供を図る仕組みをつくりまします。

| 計画 | | | 実績 | | 連絡先 | 担当課 | 評価・コメント |
|--------------------|---|--------|-------|----|--------------|-------|---|
| 事業名 | 事業の概要 | 実施予定時期 | 実施時期 | 備考 | | | |
| 情報誌等閲覧促進事業 | 行政に送付される様々な情報誌などで、市民に有益な情報をまちづくりデザインセンターなどに集約し提供します。 | 随時 | 随時 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：収集した情報を適切に発信できたか、良かった点、上手くいった点、課題点等) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 |
| nandla(なんくら)ホームページ | 定住促進情報を集約し発信しています。 | 通年 | 通年 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 南丹市の魅力や多彩なライフスタイル、移住促進制度や地域イベントなど、移住希望者が知りたい情報や地域団体が発信したい情報を掲載することにより、定住促進と地域の活性化につなげることができた。 特に空き家バンク情報については、移住相談の直接的な動機づけとなる主要コンテンツとなっている。 |
| 定住促進ガイドブック「なんくら」 | 定住促進を図るツールのひとつとして、南丹市や関係機関が実施する各種施策などの情報を掲載するガイドブックを作成します。 | 毎年度更新 | 毎年度更新 | | 0771-68-0019 | 地域振興課 | 定住促進イベント・定住促進サポートセンターでの案内業務に活用するとともに、各区長・京の田舎ぐらしナビゲーターなどに配布したことにより、移住希望者・空き家所有者・地域団体・企業等に対して、メリットのある定住促進制度などの情報を発信できた。 |
| 障がい者福祉のあんない版 | 障がいのある方に関する制度をわかりやすく周知するための冊子を、窓口案内や相談業務に活用したり市のホームページに掲載しています。 | 毎年度更新 | R5.7 | | 0771-68-0007 | 社会福祉課 | 障がいのある方のみでなく、事業所でも冊子を活用され、障害福祉制度の周知広報を図ることができた。また、ホームページにも掲載することで適切な情報発信が行えた。 |
| 当事者団体加入のすすめ | 同じ悩みを持つ人同志がわかちあい学びあい支えあうことで、日々の暮らしを充実させるため、当事者団体への加入をすすめる冊子を、窓口案内や相談業務に活用したり市のホームページに掲載しています。 | 毎年度更新 | R5.7 | | 0771-68-0007 | 社会福祉課 | 障害認定を受けた方に配布することで、当事者団体の加入促進を図ることができた。また、ホームページにも掲載することで適切な情報発信が行えた。 |

(2) 意見交換の場や交流の仕組み

協働を推進するうえではお互いを信頼しあい、対等な立場でアイデアなどが出し合える環境が必要です。まちづくりについて気軽に交流できる場づくりを行います。

| 計画 | | | 実績 | | | 連絡先 | 担当課 | 評価・コメント |
|------------|--|--------|----------|---------------|----|---|------------------------|---|
| 事業名 | 事業の概要 | 実施予定時期 | 実施時期 | 実績 (実施件数等) | 備考 | | | |
| 市民活動団体交流事業 | 市内で活動するNPO法人や市民団体、企業など、まちづくりに関わる様々な主体が集まり、ワークショップ形式で意見交換を行います。 | 1回程度 | R6年2月27日 | 参加者 24名見込 | | (市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555 | 地域振興課 まちづくりデザインセンター | <p>期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：広報の方法が適切であったか、ワークショップの手法・内容が市民の意見を上手く引き出せるものであったか、良かった点、上手くいった点、課題点 等)</p> <p>※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p>2月27日(火)の19時から交流会を実施。 今年度はNPO法人テダス作成のNPOゲーム(実話をもとにしたボードゲーム)を通じて、団体が成長していく流れを体験してもらう内容としている。</p> |

(3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み

市民活動においては、行政からの情報だけでなく、団体同士、団体に必要なものやコトなどをつなぐための中間支援的役割が必要です。南丹市まちづくりデザインセンターが中心となり、それらのコーディネートや資金面でのアドバイスをを行います。

| 計画 | | | 実績 | | 連絡先 | 担当 | 評価・コメント |
|------------|--|---|---|----|---|------------------------|--|
| 事業名 | 事業の概要 | 実施予定時期 | 実績 (実施件数等) | 備考 | | | |
| 相談・紹介事業 | まちづくりデザインセンターのコーディネートにより、様々な団体やひと・もの・コトをつなぎ、より効果的で多面的な事業を推進します。 | 随時 ※開館時間 水・木・金 10時～18時 土 10時～12時 | <ul style="list-style-type: none"> 来館相談239件 電話相談 80件 計319件 | | (市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555 | 地域振興課 まちづくりデザインセンター | <p>期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください。 (例：利用者のニーズに応じたアドバイスが適切にできたか、良かった点・上手くいった点、課題点 等)</p> <p>※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p>例年多数の相談があり、十分な成果が得られている。デザインセンターからはNPO等と市担当課との間でのトラブル相談が多いとの報告があり、補助と委託、共益と公益の違いが分からない、企画段階から相談する習慣が無いことによるトラブルが主である。NPOに対して協働についての基礎を伝え、市も認識を再確認する必要がある。</p> |
| 情報収集及び発信事業 | まちづくりデザインセンターにより、さまざまな市民活動の情報及び市民活動に役立つ情報を収集し、ホームページやSNS、メール便、配架、掲示、ポスティングなどで市民に共有します。 | 随時 | <p>【発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ：随時 SNS (Facebook)：17件 メール便：19件 配架：随時 掲示：随時 ポスティング：1,500枚 <p>【収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者やSNS、新聞・図書等から随時情報収集したほか、活動現場への訪問ならびにセミナーの受講等を行った。 | | (市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555 | 地域振興課 まちづくりデザインセンター | <p>市民活動の情報を様々な媒体より収集し、ホームページやFacebookでの発信、センターでの配架等で発信。 課題として、地域振興課以外の他課で実施している市民向けセミナー、助成金、公募委員募集、パブコメ等の情報共有が不足しているため、他課との連携を強化したい。 また、現在デザインセンターのSNS広報はFacebookのみであり、InstagramやLINEの活用も検討中。</p> |